

苫東環境コモンズの
活動をまとめて報告



NEWS LETTER

～ コモンズの現地から発信する～

勇払原野のSPIRIT

「勇払原野の spirit」第3号をお届けします。創刊号は昨年8月、2号は11月でしたが、その後も当NPOではフィールドである雑木林の保育作業にはまったくオフがなく、雪の日も風の日もほぼ毎週休みなしで動きました。幸い、怪我もなく争いもなく(^_^)、元気に設立登記1周年を越えて新年度に入りました。NPOとしては特に悩みや困ったこともなく、このごろは「ならばもっとチャレンジせよ！」という内なる声も聞きますが、折角だから自然体で行こう、という別の声に身を任せています。(草)

12月からの活動報告

ただいま(2011/April 現在)の参加者状況をお知らせしますと個人会員は37名、団体会員8団体、支援会員6名、特別会員5名。先の総会で支援(ファンクラブ)会員制度を新たに設けて、遠くで応援して下さいの方がさらに関わりやすくなっています。以下、11/下旬に発行した2号以降の活動を紹介します。行事最後の数字は参加者数。(詳しくはHPで)

- ~~~~~
- 12/04 植苗病院の林の手入れ(支援)5
 - 12/05 遠浅町内会シンボルツリー周り片付け
 - 12/11 山ノ神参拝&なおらい(oyama、荒木、稲葉、上村、草苺)
 - 12/18 大島山林の池改修について土木専門家と町内会&NPO現地検討会(oyama、荒木、草苺)
 - 12/23 幌延から視察・案内(事務局)3
 - 12/25 大島山林・山仕事1
 - 12/27-29 大島山林の林道支障木整理(abe)
 - 12/30 大島山林・山仕事(2010年最後)1
 - 2011/01/03 山ノ神とシンボルに新年挨拶(事務局)、大島山林・山仕事(草苺、abe、anpo)
 - 1/8 小屋点検(草苺)、大島山林(草苺、oyama)
 - 1/9 運営委員会3+1
 - 1/15 大島山林・山仕事4
 - 1/22 大島山林・山仕事5
 - 1/25&26 大島山林・山仕事2
 - 1/29 大島山林・合同保育、森林療法関係者が体験視察9
 - 2/3,4 大島山林・山仕事(abe)
 - 2/05 大島山林・山仕事4
 - 2/12 大島山林・山仕事2
 - 2/19 午前、植苗病院の周囲山林・保育支援6 午後、植苗病院のセミナー参加4
 - 2/26 北の里山の会セミナー「日本林業の再生と欧州の技術最先端」(事務局出席)@かでの
 - 2/27 植苗病院保育支援3+大島山林保育2
 - 3/2 大島山林・山仕事1
 - 3/05 植苗病院保育支援1

- 3/06 薪祭り 町内会合同の雪中藪だし@大島山林11
- 3/12 焚き火用ドラム缶搬入&春祭り(小屋)4+植苗支援1
- 3/18 北大で鶴居村の機械化実践事業報告
- 3/26 ほだ木づくり@小屋5
- 4/02 第3回チェーンソー講習会7
- 4/09 植苗病院保育支援18
- 4/16 苫東休日「落ち枝ツアー」3

大島山林の保育、冬中休まず

独りから10人前後までまちまちの参加ですが、ほぼ毎週、ツル伐り除伐の作業が行われています。コアメンバーの集合時刻は9時から9時半、弾力的に思い思いで始めるのスタイルです。今季から、揚煙の許可も取ってあるので、昼はいつも焚き火を囲むようになりました。



会員有志総出の藪出し。大型ソリを駆使

3/6は、町内会の方々も参加した雪中の藪だし。丸太を雪のあるうちに林道まで運び、連休の5/3から軽トラックで薪作業の広場まで搬送、薪に加工します。

銃猟事故で育林コンペ断念

年明け間もなくの2011年2月4日、厚真町で猟銃によると見られる死亡事故が起きました。その後、苫小牧市弁天の苫東内でも、流れ弾と見られる銃弾が車を破損させるという事故が発生。土地の所有者らは猟友会などの協力を要請し、安全

対策に乗り出しました。

当NPOでは小屋の北部の静川で、第2次の育林コンペを開催する準備を進めてきましたが、度重なる銃猟事故に、このままでは冬季作業の安全の確保ができない、と育林コンペを当面断念せざるを得ないことを苫東会社に伝えました。

大島清さん、逝く



在りし日の大島清さん（2011/10/26@ご自宅）

2011/3/16、大島山林のもと所有者である大島清さんが亡くなりました。当NPOが大島山林を保育し始めたことを一番喜んでくれた方で、昨年、「わたしも仲間に入れてくれ」と会員になりました。事務局は、秋に2回、大島さんとお会いし昔の山林のことなど古いお話を聞きました。

そして、シンボルツリーのドロノキにしめ縄を飾る11/6、出席を楽しみにしておりましたが腰痛で出られないとおっしゃった残念な顔が思い出されます。町内会長が通夜の席の紹介のなかで、遠浅の歴史は大島一族の歴史に重なることをこのとき知りました。ここからご冥福をお祈りしたいと思います。

3回目のチェーンソー講習会

緑地保全を活動の柱にした当NPOの大事な仕事は、コナラの雑木林の保育ですが、その際の大事な道具はチェーンソー。便利である反面、扱い方では大変危険な面もあることから、「あご、足、怪我は自分持ち」の原則を守りつつ、年に1回、



講習会風景。午前小屋の中で座学。チェーンソーの仕組みなどおさらい

伐採とチェーンソー操作に関する講習会を実施し

ています。



基本はマンツーマンでみっちり。あとは自分で経験するしかない

1回目は2009/11/15@植苗病院、2回目2010/11/14@小屋、3回目の今回も2011/4/2に小屋（ケアセンター）で開催。講師は当NPO会員で札幌市森林組合に勤務する安部文志朗さん。通称Abeさんは、日ごろから、欧米の伐木技術の習得や樹上での特殊伐採などを先駆的に取り組んでおり、講習内容の幅と奥行きが格別。この技術を駆使した伐採作業は新緑になる前の5月中旬頃まで続きます。

コミュニティフォレスト

大島山林のシンボルツリーの今



(左)正月、(右)4/16 風格ある姿は変わらず

編集後記 今年の計画を紹介する紙幅がなくなりましたので、詳細は予定表をご参照願います。勇払原野の自然を保全しながら活用するNPOの仕事はタツプリというより山積。年間を通じて、わたしたちの活動は環境の享受よりも保全の担い手として技術と時間を提供するほうが多いのですが、働きながら得るものはとても多いものです。今年は、雑木林や林道、フットパスの管理とともに、調査研究、ハスカップのサンクチュアリと風倒後のエコミュージアム、ほだ木づくりなどにも取り組む予定です。(事務局)

お問い合わせ

NPO 法人苫東環境コモンズ 事務局

草苺 kt-884-556@nifty.com

携帯 090-6999-2765